



彩の国福祉教育・ボランティア学習推進員ネットワーク

あったかウェルねっとニュース 第4号

2005年6月27日発行

ホームページ新アドレス <http://www.geocities.jp/attaka17/>

彩の国福祉教育・ボランティア学習推進員ネットワークも発足から5年目。各地域での推進員の活動が、ネットワークで結ばれ、注目を集めているようです。平成17年度の事業もスタートしました。今年度もよろしくお祈いします。

あったかウェルねっと 平成17年度総会

平成17年5月14日(土)午前10時から、彩の国すこやかプラザにて、平成17年度総会が行われました。(出席者45名)

来賓の県社協地域福祉・民生部地域福祉課長大熊誉隆氏から、福祉教育が県内各地に定着していくよう計画している施策の動向や想いについてお話がありました。推進員ネットへのエールをいただき心強く感じました。

また、推進員ネットの設立時からご支援くださっている日本福祉大学の原田正樹先生は、推進員の皆様宛にメッセージをくださいました。

「福祉教育」を大切にすること、それは人のいのちと地域の生活を大事にするということだと思ひます。ところが誰もがそのことを認めながらも、実際に行動に移すことは難しいのが現実です。そのなかで推進員の皆様のように、「想い」を「実践」していることは、素晴らしいことだと思ひます。埼玉を離れてみて、改めて推進員の「力」を感じます。(略) 原田正樹

続いて、前年度の報告および今年度の新役員・事業・予算などが承認され、17年度から副代表が2名になりました。副代表より、永田副代表および世話人の紹介と推進員の連携を呼びかける挨拶がありました。

総会後は、5グループに分かれ、軽食をいた

だきながら、地域での活動のことや推進員になったきっかけなど、情報交換に花が咲き楽しい交流タイムとなりました。

坪井代表は学校の職務があり、交流タイムからの参加になりましたが、「県内に福祉教育推進の輪が広がっていくよう連携できる人たちを巻き込んで推進していきましょう」と穏やかながら力強い代表あいさつがありました。

参加者からも、「久しぶりに皆さんにお目にかかれて嬉しく、また、いろんな情報も得られました」との声もありました。



彩の国すこやかプラザ2階研修室1・2・3にて

ユニバーサルデザイン 研修会

シンポジウム及びグループディスカッション

パネラー：三田(さんだ)一夫氏(県総合政策部文化振興課ユニバーサルデザイン担当)
宿谷雅之氏・春原優子氏(株アドアサヒ 視覚障害デザイン研究室)
大橋正幸氏(老健「やまぶきの郷」)

ねっと世話人の永田博二氏のコーディネートで、各パネラーからユニバ-サルデザインについての様々な視点を伺いました。その後のディスカッションでは、どのグループでも、ユニバ-サルデザインがソフト面においては「おもいやりの心」につながっているという意見が出たのが印象的でした。

やっぱりすべては”相手を思いやる心”これに
尽きるのかな？ 福祉教育の視点で
すね。



活発なグループディスカッション
(午後の研修会)

事務局からのお知らせ！

《その1》

あったかウェルねっとのホームページアドレスが新しくなりました。

<http://www.geocities.jp/attaka17/>

HPリニューアルに向けて、ただいま、有料サイトに申し込みの準備をしています。なお、当分の間は旧アドレスからも見ることが出来ます。

《その2》

平成17年度 会費納入のお願い！

ねっと会費(年1000円)未納の方は、納入をお願いします。下記への振り込みも出来ます。

振込先：埼玉りそな銀行(騎西支店)普通預金

口座番号：3652621

名義：福祉教育推進員ネットワーク

会計 高橋好子(たいこ) 宛て

推進員、各地で活躍中！

浦和税務署職場研修会報告(H17.6.21)
バリアフリー化の必要性と納税者の利便の向上を図る研修会の講師依頼がありました。

職員120名(60名×2回)と共に「ノーマライゼーション・共に生きる社会を目指して」～視覚障害者&福祉教育推進員の立場から～をアイマスク体験と講話を通して学び合いました。

~ ~ ~ ~

二市町村社協が合同連絡会議を毎月開催！

東松山市の推進員と嵐山町の推進員のみなさんが月1回情報交換しながら研修プログラム案づくりなど協力し合って3年目になります。先月は東松山社協、今月は嵐山町社協の会議室で、夏の市町村研修(8月17・18日)に向けてみんなで準備を進めています。

~ ~ ~ ~

安藤謙一さん(神川町)に届いたお礼のこ
とば! (小3) 安どうさんへ

ぼくは安どうさんのような人をはじめてみました。とてもびっくりしました。でもすぐやさしい人だと思いました。きのう いっしょに絵を書けてうれしかったです。のうせいまひなの絵書きさんなんてびっくりしました。いっしょにきゅうしょくたべられてうれしかったです。

とても勉強になりました。安どうさんがきたらきゅうにワクワクしてきました。たのしいじゅぎょうでした。絵をかくとき うまくかけなかったけどまた安どうさんの絵をかきたいと思いました。またじょうずな絵を見たいです。

ぼくは安どうさんのことをすごいと思いました。でもぼくは心がなんとなくじーんとしています。こんどまたあえたらあいましょう。それであんどうさんはしょくじはどういうのを食べていますか ききたいです。

~ ~ ~ ~

大人向け研修会のレジュメより抜粋!

「福祉教育とは」 (第2期推進員)

子供達が日常生活の中で障害者と接する機会があって、ふれあい交流ができれば、福祉教育プログラムは必要ないものである。

しかし、現実には、子供達にとって障害とは非日常のものである。

したがって体験を通して障害に関心を持ってもらうことが、福祉教育の導入であり、子供達に障害を理解してもらうことになる。

例えば、手話の体験学習で考えると、大切な事は、手話というものをマスターすることでなく、手話を通して、障害をもった人とコミュニケーションがしたいという気持ちを子供の中に育むこと、社会の一員としての自覚や自分の活動が人の役に立っているという有用感を養うことが、福祉教育である。(福祉教育は、種まきであって、技術を教えることでは

ない。)

「今は何もできないけど、あすの私に期待したい」
そういう子を育てるのが福祉教育

世話人会からのお知らせ★★★

夏の研修会に協力参加を

5 力年計画で終了した、彩の国福祉教育・ボランティア学習推進員研修会ですが、「埼玉県福祉教育・ボランティア学習関連事業検討委員会」の検討結果、第6期養成研修会が、今夏開催されます。昨年同様、あったかウェルねっとへまち探検の協力依頼(8月9日・11日)がありました。

ご協力いただける推進員の方からの連絡をお待ちしていますので、よろしくお願い致します。

また、事前の打ち合わせがありますので、早めにネット事務局(横田)宛にご連絡ください。

なお、8月17日(水)は、県民対象の一般公開プログラムです。推進員の私たちも、新たな気持ちで学習し合ひましょう。

学・民ジョイントプロジェクト説明・相談会出席

「あったかウェルねっと」応募準備開始!

新規に県教育委員会が実施する「学校と民間との協働プラン開発事業」で、小中学校が民間企業やNPOと共同で授業を企画、実施することに。(詳細は、下記URLを参照ください。)

http://www.pref.saitama.lg.jp/A20/BP00/gakumin/GAKUMIN_top.html

「学・民ジョイントプロジェクト推進校」は県内10校で、「環境、国際理解」「福祉・ボランティア」「キャリア(職業・進路)」からテーマを選択し、各学校は独自の授業計画を提案。

そこで、あったかウェルねっとでは、応募に向けて『福祉・ボランティア』教育システムの開発に取り組む、2校(春日部市立幸松小学校4年生122名:9月~12月:12回、及び、深谷

市立南中学校1年生:9月~12月:15回)を訪問し、この新規開発事業で学校が目標にする「あたたかくふれあう力」「心のバリアフリー」の計画概要などを説明いただきました。ネットワークからは、県内の福祉教育・ボランティア学習推進員が目指している「共に生きる」福祉体験の様子など日頃の活動についてお伝えし、応募に向けての意欲を学校にアピールしました。

さて、2校の学校と協働で授業のプログラムを作っていくというこの事業は、あったかウェルねっとの専門性を多いに生かせるものです。

しかし、同じ期間に2校のお手伝いをするのは無理なため、小学校には日頃の活動で協力し、今回は「あたたかくふれあう力」がキーワードの深谷市立南中学校に応募申請する運びになりました。

そこで、世話会が中心になり、学校の「ねらい」を具体化させながら、講師等の人材やインパクトのある素材を提供できるよう、推進員みんなで力を合わせ、ねっと独自のプログラム案をつくっていきます。

どうぞ、推進員の皆様からのアイディアやご協力をよろしくお願い致します。

【応募:書類申請(6月30日迄)「公開プレゼンテーション」(7月12日10:00~県民健康センター)結果発表:7月末】(関連記事は4P)

県社協より情報いろいろ★★★

埼玉県福祉教育・ボランティア学習関連事業検討委員会結果の冊子化

平成16年度に県内の福祉教育・ボランティア学習を効果的に推進するため、計4回に渡って開催された「埼玉県福祉教育・ボランティア学習関連事業検討委員会」の検討結果報告が冊子としてまとめられました。

報告の中では、埼玉県における福祉教育の課題、県社協の事業上の課題が抽出され、改善に向けた今後の方向性や事業への提言がなされています。

埼玉県における福祉教育推進の方向性には、

人材の育成
 行政や教育委員会との連携を深める
 関係者と連携ができるシステムの構築
 福祉教育の質の向上と定着
 地域福祉を推進する福祉教育の展開
 福祉教育推進のネットワークの構築

が挙げられています。

今後の埼玉県の福祉教育・ボランティア学習の方向性を示していると言えます。

本報告は市町村社協に1部配布され、また、市町村社協を通して市町村教育委員会に1部配布されています。

「総合学習」で駅のバリアフリー化など地域の課題研究

(日本教育新聞 H17年5月2・9日)

神 奈川県箱根町立明星中学校では昨年度「総合的な学習」で、「地域の課題のどう向き合うか」をテーマに半年間プロジェクト学習に取り組みました。

暮らしの中で感じたこと、地域や家族から聞いた意見を学年全員で述べ合い、町の持ち味、現状を踏まえて「老人から子どもまで誰にでも優しい町づくり」というテーマを設定しました。優しい町とは何かをテーマに4、5人単位のチームでアンケート等調査を行いました。あるグループでは登山鉄道のサービスについて調査し、駅のバリアフリー化を提案、ほかのグループでは新しい土産品の考案をしました。

この学習を通し生徒が自分たちの地域をよく見るようになったそうです。さらに夏休みに推奨しているボランティアは、大幅に増えたそうです。

身近な地域の課題をテーマにすることでより具体的に実感でき、1つ事業が終了した後も継続したボランティア活動につながるのではないのでしょうか。総会後の研修でも「ユニバーサルデザイン」を取り上げましたが、福祉教育に地域の課題を取り入れていくことも、重要な視点になっていくでしょう。

民間に授業を“注文”

(朝日新聞 H17年6月3日)

県 教育委員会は、小中学校が民間企業や NPO と共同で授業を企画、実施するプロジェクトを新規に立ち上げ、県内10校を「学・民ジョイントプロジェクト推進校」に指定しました。

応募は6月30日(木)迄。大学教授や企業・NPO 代表者などによる選考委員会が、応募団体の選考をし、審査とアドバイスを行うこととなります。書類審査の後、7月12日(火)に公開プレゼンテーションを行い、選考結果が発表されます。

県義務教育指導課では、民間との交流を通して教員に時代の変化に対応できる能力が身につくことを期待しているとのこと。年度末に事例集を刊行しノウハウを全権に普及させたい考えです。

プロジェクト等へのお問い合わせは県義務教育指導課 (tel : 048-830-6752) までです。

福祉教育推進員の出番ですね
 関連記事を P.3 に掲載しています。推進員のみみなさまのご協力をお願いします！！

あったかウェルねっとホームページ
 新アドレス <http://www.geocities.jp/attaka17/>

あったかウェルねっとの「ウェル (WELL)」は、Welfare (福祉) Well Being (幸福) の Well (大切にという意味) です。私たちのネット愛称には、「温かな心で一人ひとりを大切に思うつながり」でありたいとの願いが込められています。

編集後記

情報をお寄せ下さったみなさん、ありがとうございました。講座や研修をお手伝いすると、他地区の推進員さんとも顔見知りになれるのが嬉しいですね。今年度も多いに出会ってネットしていきましょう。

発行：彩の国福祉教育・ボランティア学習推進員ネットワーク事務局
 〒350-0214 埼玉県坂戸市千代田4-7-12-504
 横田八枝子 (TEL&FAX : 049-281-3161)
 (e-mail : y-yae@xf7.so-net.ne.jp)
 協力：埼玉県社会福祉協議会 埼玉県ボランティアセンター
 担当：星 (TEL : 048-822-1192 FAX : 048-822-1449)
 (e-mail : hoshi@fukushi-sai.tama.or.jp)
 編集：あったかウェルねっと世話人会 (情報担当)